

キク(ピンポンマム)
Dendranthema grandiflora
 (キク科)

八重咲きのスプレーギクを1茎1輪に仕立てたものである。花束やアレンジなどに多く用いられる。球(ピンポン)状に満開になった時点で収穫、出荷されるので、輸送中に花卉が傷みやすい。花もちは通常の切り前のキクより短い。

日持ち終了の主な症状は、花卉の萎凋、褐変、葉の萎凋、黄変である。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
花卉(舌状花)の褐変	A:発生なし C:花卉の一部に褐変(しみ)が発生する D:褐変が広がる	
花卉(舌状花)の萎れ	触ってみて, A:張りがある B:やや軟となる C:軟らかくなる D:萎れる	
葉の萎れ	触ってみて, A:張りがある B:やや軟となる 視覚的に, C:萎れるが、切り戻すと回復する D:萎れて垂れ下がり、切り戻しても回復しない	
茎葉の黄変・褐変	A:黄変・褐変の発生なし(緑色) B:下位葉に黄変が発生する C:中位より上の茎葉に黄変・褐変の発生が始まる D:茎葉の1/2以上が黄変し、下葉が枯れ上がる	黄変の発生には品種間差が大きい
その他	灰色かび病、虫害、茎基部の腐りなど	ダニの発生に注意する。後処理剤を用いた場合には茎の腐りは発生しない

2) 留意点

下葉は十分に取り除いて、いけ水につからないようにする。

乾式輸送後の強く萎れた切り花は、あらかじめ水で水あげを行った後、後処理剤の溶液に移して品質評価を開始する。

多湿下で灰色かび病が発生しやすい。

3) 開花



4) チェック項目

花の老化



葉の老化

